

マルセ太郎喜劇プロデュースVOL.11

マルセ太郎作・演出 シアターX(カイ)提携公演

中劇場協議会フェスティバル2000



芸術文化振興基金助成事業

枯れない人ユ

2000年10月17日(火)~22日(日)

シアターX(カイ)

配役

調停委員	大山志津子	檜 よしえ
調停委員	今村仙之助	維田 修二
申立人	吉川恵美	矢野 陽子
恵美の二番目の夫	吉川恒雄	マルセ太郎
恵美の三番目の夫	神田寛斎	葛飾 刻斎
愛人の男	加納義隆	永井 寛孝
元大学教授	大山敬二	松岡 文雄
審判官	谷川 実	瓜生 和成



スタッフ

照明 日高勝彦
音響 是安房雄
舞台監督 富広陽子
宣伝美術 花本 彰

制作：マルセカンパニー

檜 よしえ (大山志津子) 調停委員

東京都出身

俳優座養成所13期生。卒業後劇団俳優座に入団、現在に至る。

【主な出演作品】

「鹿の園」「アンチゴネ」「六月の女」「ロミオとジュリエット」「マリヤの首」「野鴨」「そして誰もいなくなった」「国語元年」「巨人の帽子」「闇に咲く花」「ミラノの奇跡」「コルチャック先生」「湾岸から遠く離れて」「アズリー家の三姉妹」ほか多数

維田 修二 (今村仙之助) 調停委員

1961年俳優座養成所10期生卒業後、劇団「新人会」入団。解散後、田中千禾夫、渡辺美佐子らと演劇集団「兆」結成に参加。同解散後フリー。

【主な出演作品】

千田是也演出作品(プレヒト作品他)。

田中千禾夫作・演出作品。

観世栄夫演出作品。

別役実作品(企画“66”)等、出演作品多数。

マルセカンパニー「真夏の夜の哀しみ」「花咲く家の物語」「役者の仕事」「花咲く家の物語'98」「北の宿にハトが泣く」「イカイノ物語」「春雷」

矢野 陽子 (吉川恵美) 申立人

1973年、演劇集団「ぐるーぷえいと」結成。

1993年「ぐるーぷえいと」解散後フリー。

【主な出演作品】

ソートーン・ワイルダー作・早野寿郎演出「わが町」。

真船豊作・塩見龍介演出「魃」。

川崎照代作・藤原新平演出「塩祝申そう」「鯉群」「港の風」三部作。

新藤兼人作・藤原新平演出「女の声」。

有吉佐和子作・藤原新平演出「山彦ものがたり」シンガポール公演。

マルセ太郎作品には一作目から全作品に出演。

葛飾 刻齋 (神田寛齋) 恵美の三番目の夫

東京葛飾出身

1964年東宝芸能学校卒、劇団「世代」に入る。

【主な出演作品】

押川昌一作「安政異聞」「二葉亭四迷」(芸術祭奨励賞受賞)

安保広信作「ブラインドの視界」(芸術祭奨励賞受賞) 魯迅作「阿Q正伝」

霜川遠志作「藤野先生再見」(中国演出会社の招聘で中国公演)

マルセ太郎作「黄昏に踊る」「つるかめ荘は今日もワルツ」「枯れない人々」「真夏の夜の哀しみ」

1985年劇団「世代」退団、現在に至る。

永井 寛孝 (加納義隆) 愛人の男

愛知県出身。

1978年から1989年までテアトル・エコー在団。

退団後、プロダクション・プライムワンを経て92年、フリーとなる。

俳優、時には脚本家、はたまた演出家として舞台を中心に活躍。

1988年よりオリジナル歌芝居集団『おっ、べれった』を結成、小劇場ミュージカル公演をそーっと継続中。第二弾公演の劇中歌「納豆をおいしく食べるには」は『ひらけ! ポンキッキ』(現ポンキッキーズ)で放送されCD・ビデオ等になり納豆の普及に一役買った(?)。

マルセ作品には一作目から全作品に出演。99年からテアトル・エコー演出部に参加。

次回公演のお知らせ

「イカイノ物語」マルセ太郎 作・演出

2001年4月3日(火)～8日(日)

東京芸術劇場 小ホール2

あの、あの感動を再び!
ご期待ください。

制作 マルセカンパニー

マルセ太郎中毒の会

入会随意 誰でもなれる中毒患者

入会資格 マルセ太郎のライブを観ることです。

・・・そして、中毒を進行させましょう。

マルセ情報の宝庫

マルセ中毒のホームページ

<http://www.ppn.co.jp/saru/index.html>

mail saru@ppn.co.jp

メールしましょう。マルセ情報、グッズがゲットできます。



瓜生 和成 (谷川 実) 審判官

千葉県出身。東京タンバリン所属。

【主な出演作品】

東京タンバリン「夏祭り」「WOOD」「盆と正月」「春夏秋冬」etc.高井浩子作・演出/明石スタジオ
青山劇場プロデュース「銀河鉄道の夜」白井晃演出/青山劇場
Bunkamura10周年企画「阿呆劇ファルスタッフ」白井晃演出/シアターコクーン
遊 機械/全自動シアター「オーマイパパ」白井晃演出/シアターコクーン
グループる・ばる「レッツゴー!浪曲」蟻義信作・演出/シアタートップス
「ホトトギス」鐘下辰男作・演出/シアタートップス
マルセカンパニー「花咲く家の物語'98」「イカイノ物語」

松岡 文雄 (大山 敬二) 元大学教授

日大芸術学部卒。

映画助監督を経て劇団“葦”解散まで在籍、現在プロダクション“バオバブ”所属。

【主な出演作品】

菊田一夫演出「人間の条件」(東宝) 早野寿朗演出「暗黒の男たち」
キノ・トール演出「我らが青春のマリアンヌ」 藤田伝演出「鬼無鬼島」
藤原新平演出「アトリエ」「夜明の街」 野田雄司演出「礼服」
マルセカンパニー「黄昏に踊る」「枯れない人々」「真夏の夜の哀しみ」「役者の仕事」「花咲く家の物語'98」「北の宿にハトが泣く」

マルセ太郎 (吉川恒雄) 恵美の二番目の夫

大阪生まれ。

1954年、上京。マルセル・マルソーの舞台を見てパントマイムに興味を持ち、彼の名にちなんでマルセ太郎と命名。1956年、日劇ミュージックホールにて、パントマイムでデビュー。その後コント活動を経て、動物の形態模写を中心に浅草の演芸場に出演。特にサル形態模写はその迫真力で圧倒。1984年、映画「泥の河」をきっかけに映画再現芸というまったく新しいジャンルを開拓。1本の映画の最初から最後まで語り尽くす一人芸である。“スクリーンのない映画館”として公演、各界から絶賛され、そのレパートリーは10数本に及ぶ。1991年、講談社より「芸人魂」を出版。1993年より、「黄昏に踊る」と題して老人に視点を置いた喜劇を書き下ろし、自ら演出・出演し話題となる。(これまでに10作品上演)1994年6月、NHK教育テレビの「芸術劇場」で「泥の河」を放送。1996年6月、NHKテレビ(BS2)でドキュメンタリー「生き様を演じる」～マルセ太郎の芸人魂～を放送。現在は「肝臓癌」と闘いながらも全国各地で公演活動を展開する。98年、講談社より「奇病の人」を出版。

マルセ太郎の本

「芸人魂」

講談社 ¥1800 ISBN-06-205677-1

「奇病の人」

講談社 ¥1800 ISBN-06-209195-X

「マルセ太郎 記憶は弱者にあり

--- 喜劇・人権・日本を語る ---」

森正・編著 明石出版 1800円 ISBN4-7503-1192-8

マルセ太郎のビデオ

マルセ太郎のロードショー スクリーンのない映画館

96年12月シアターBeフリーにて収録のライブ版video(保存版)

プロダクション人力舎 制作・発売:キメラ 各巻¥4200(税込み)

VOL1『泥の河』カラー 78分VHSステレオHi-Fi CHIV-11001

VOL2『息子』カラー100分VHSステレオHi-Fi CHIV-11002

VOL3『生きる』カラー108分VHSステレオHi-Fi CHIV-11003

株式会社 キメラ Tel03-5378-2711 Fax03-5378-2714

近日発売

「マルセ太郎写真集」 明石出版

マルセ太郎のCD

マルセ太郎の映画

マルセ太郎の人形

とか、ほしいと思いませんか?

「ほしいー」



在日の高齢者交流クラブ「トラチの会」

ハルモニからの贈り物 「ハルモニ・グルメ・クラブ」

本物の韓国・朝鮮伝統食の技をあなたに！焼き肉だけが伝統食ではない。

韓国へ旅行された経験のある方はおわかりだろうと思いますが、その食の豊かさに驚かされます。「イカイノ物語」でお世話になった川崎の「ふれあい館」とそこに集まる、在日一世のハルモニからそんな豊かな食のワザが学べます。

キムチにしてもコチジャンにしてもハルモニ一人一人に技があります。その技をあなたの食卓にのせてみませんか？

食のワザ

キムチはもちろん、コチジャン、ヤンニンなどの調味料、特にタンポポのナムルは絶品だそうです。春にはタンポポ摘みに出かけてそれを調理するそうです。左党にはマッコウリの作り方も。もちろん「製品」も超低価格でわけてもらえます。これは、ながい、ながい苦勞の末に日本に暮らすハルモニ達の「生きがい」になるのです。

毎週 水曜日はトラチの会の例会があります。そこでは一緒にハルモニ達とお食事会があり、食後は歌ったり、踊ったり。まずは、そこへ出かけていくのが手っ取り早いですね。参加希望者は必ず電話をしてから
連絡先は044-288-2934 三浦（川崎ふれあい館 川崎市川崎区桜本1-5-6）

トラチ

トラチはキキョウの花です。白い根は、ナムル（あえもの）などにして食べます。白い花、紫の花をつけます。白い花のトラチは薬にもなるそうです。深い山の中に生え、トラチをとりにいくことは、女の子たちにとって楽しい時間です。歌にもうたわれるように、根がはって、一本二本とるとかごいっぱいになります。民族を象徴し、会が大きく根をはるように願いをこめて『トラチの会』と名付けました。（トラチ会ごあんないより）

ヤンノンジャ レシピ（すべて大さじ）

この、調味料は売っていません。家庭で作るものだそうです。おかずにないときご飯にかけてこれだけでいけます。お試しあれ！

ごま油（2）醤油（3）白ごま（3）みりん（少々）すりニンニク（好み）トウガラシ粉（好み）
みじん切り長ネギ（3～5）できるだけ細かくたくさん入れるほどおいしい冷や奴に合うし、なんにでも使える。

マルセ太郎のスーパーライブ

毎月一回 シアターXでマルセ太郎のライブがあります。

10月23日（月）「ライムライト」

11月14日（火）「生きる」

お問い合わせ マルセ日和 03-3378-6584

企画・制作 マルセカンパニー

201-0004 東京都狛江市岩戸北1-7-9-102

03-3430-7536 fax03-3430-7531

<http://www.ppn.co.jp/saru/index.html>